

令和7年度 学校評価アンケート集計結果（上期）

【評価基準】
◎：Aが70％以上
且つA+Bが90％以上
○：A+Bが80％以上
△：A+Bが80％未満

評
価

上
期
比

A+B(%)
上
期
下
期

安心・安全	1	学校は、子供が安心して学校に行くことができるように努めている	◎		98%
	2	学校は、子供が健康で安全に過ごせる環境づくりに努めている	◎		98%
学校教育目標	3	学校は、学校教育目標「ゆたかな心」の育成に努めている	◎		96%
	4	学校は、学校教育目標「たしかな力」の育成に努めている	◎		95%
情報発信	5	学校は、学部の様子などを連絡帳や学部だより、ホームページなどで伝えている	◎		100%
資質・能力の育成	6	学校は、自立と社会参加に必要な「生活する力、働く力、人と関わる力」の育成に取り組んでいる	◎		96%
授業の充実・専門性	7	学校は、授業内容を工夫し、ていねいな指導を行っている	○		94%
	8	学校は、一人一人に応じた専門的な教育を行っている	○		95%
	9	学校は、個別の教育支援計画や個別の指導計画を適切に作成し、保護者と共有している	◎		99%
人権教育	10	学校は、子供の人権を大切にしながら指導を行っている	◎		96%
	11	学校は、「いじめ」に対して未然防止や早期発見に努めている	○		80%
進路指導	12	学校は、進路に関する相談や情報提供（進路だより発行、事業所説明会開催など）を適切に行っている	◎		98%
保護者との連携	13	学校は、保護者の相談に適切に対応し、保護者と連携・協力ができている	◎		98%
交流及び共同学習	14	学校は、居住地校交流など、地域の学校と交流活動を積極的に行っている	◎		95%
事業所との連携	15	学校は、卒業後の生活を見すえ、地域の福祉事業所と積極的に関わっている	○		98%
センター的役割	16	学校は、小学校や中学校等の教育相談に応じたり、研修の講師を務めたりするなど、地域の学校に貢献している	△		79%
教職員の働き方改革	17	学校は、教職員が健康で生き生きと働くことができるための環境整備に努めている（保護者） 学校は、勤務時間や休暇の取得への配慮、日課や学校行事の工夫など、働き方改革に努めている（職員）	△		70%
開かれた学校	18	授業参観や学校行事（運動会、秋まつり、持久走大会など）は、子供や学校を理解する機会となっている	◎		100%
選ばれる学校	19	学校生活は、子供の成長の様子から充実していると感じている（保護者） 子供たちの学校生活は充実している（職員）	◎		96%
	20	子供にとって本校を選んでよかったと感じている（保護者） 本校で教えることにやりがいを感じている（職員）	◎		97%

A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない E:わからない



【分析と対策】

項目番号	分 析	対策・方向性（★下期の重点取組事項）
1～4、 6、 9、 10、 12、 14、 15、 20	保護者、職員ともA＋B評価が90％以上であり、日々の取組が評価されたと思われる。	校長のリーダーシップによる学校教育目標の達成。安心・安全な学校作り、人権教育、進路指導の更なる推進に努めていく。
5、 1 8	保護者、職員ともA＋B評価が100％であり、日々の取組が評価されたと思われる。	毎日の連絡帳やホームページ等における情報発信や授業参観、学校行事の充実を図り、子供たちの頑張りを継続して伝えていく。
◆7、 8	令和6年度下期より1％向上した。しかし、保護者にCやD評価があるため、個別的な対応が求められる。	★研究部主導のもと、授業研究会や学部研修を行って職員の専門性の向上を図るとともに個別の教育的ニーズに沿った指導を進めていく。
11	保護者にE評価が多いのは、いじめの有無の情報を家庭と共有できていないと思われる。	★いじめの有無について、12月に生徒指導部が「心のアンケート」を児童生徒に実施する。実施後は個別に結果を保護者と共有するとともに概要を公表する。
◆13	令和6年度下期より4％向上した。4月や夏休み等の懇談において保護者の思いにきちんと耳を傾けた結果と思われる。	今後も保護者の相談に傾聴し、適切に対応し、連携・協力を図りながら教育活動を進めていく。
16	保護者の回答でE評価が多かった。本校が八代管内のセンター的役割を担っていることについて情報発信が不足していたと思われる。	★支援部主導のもと、本校が八代管内の小・中学校の支援を行っていることをPTA総会やコーディネーター便り、ホームページ等で知らせていく。
17	保護者の回答でE評価が多かった。職員が生き生きと働くことができる環境整備について、情報発信が不足していたと思われる。	★職員が生き生きと働くことができる環境整備について、学校便りやPTA総会等で知らせていく。
19	保護者の回答は高い数値であったが、CやD評価があった。個別的な対応が求められる。	保護者との情報共有を大切にし、子供に応じた個別最適な支援を行い、学校生活が充実していると感じられるような学校作りをしていく。

◆は令和7年度上期の重点取組事項